

農業者意向調査 結果概要

- 1 実施期間 令和5年1月
- 2 対象者 高松市農業委員、認定農業者、新規就農者、水田部会委員、
集落実行組合長、集落営農組織代表者

3 回答状況

送付数	回答数	回答率(%)	前回(%)
1,435	904	63.0	63.4

4 調査内容と結果

〔I あなたの世帯の農業経営の状況についての設問〕

問1：あなたの性別と年齢をお答えください。(①の性別にはどちらかに○を、②の年齢には何十歳代かを()内に記入してください。

①性別：(男 ・ 女 ・ その他) ②年齢：() 歳代

[回答] 問1 回答者の性別

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
男性	832	92.7	91.6
女性	66	7.3	8.1

[回答] 問1 回答者の年齢別内訳

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	計
回答数	3	17	40	70	258	391	118	897
割合(%)	0.3	1.9	4.5	7.8	28.8	43.5	13.2	
前回(%)	0.1	1.2	4.9	13.8	47.3	24.3	8.4	

問2：あなたの世帯の農業従事者についてお答えください。農業に従事している人が複数の場合は、農業従事の割合の高い上位5人まで記入してください。(①の性別にはどちらかに○を、②の年齢には何十歳代かを()内に、③の年間従事日数には1年間の農業従事日数を()に、④の兼業の有無にはどちらかに○を記入してください。)

(例)	①性別	②年 齢	③年間従事日数	④兼業の有無
	○男・女・その他	(50) 歳代	(300) 日程度	○有 ・ 無
	男・女・その他	() 歳代	() 日程度	有 ・ 無
	男・女・その他	() 歳代	() 日程度	有 ・ 無
	男・女・その他	() 歳代	() 日程度	有 ・ 無
	男・女・その他	() 歳代	() 日程度	有 ・ 無
	男・女・その他	() 歳代	() 日程度	有 ・ 無

[回答] 問2 世帯の農業従事者数

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1人	357	44.8	34.6
2人	283	35.6	38.4
3人	87	10.9	17.2
4人	45	5.7	7.4
5人	24	3.0	2.4
計	796	—	—

[回答] 問2 農業従事日数
一人目

									兼業の有無	
回答数		0～50	51～100	101～150	151～200	201～250	251～300	301日以上	有	無
男	666	143	125	63	49	57	124	50	231	380
女	123	27	20	9	11	13	30	4	26	86
計	789	170	145	72	60	70	154	54	257	466

二人目

									兼業の有無	
回答数		0～50	51～100	101～150	151～200	201～250	251～300	301日以上	有	無
男	100	47	10	4	12	8	11	5	60	36
女	336	55	68	34	25	33	75	33	92	222
計	436	102	78	38	37	41	86	38	152	258

三人目

									兼業の有無	
回答数		0～50	51～100	101～150	151～200	201～250	251～300	301日以上	有	無
男	100	63	12	4	4	5	7	4	73	25
女	53	22	9	3	7	1	6	3	16	34
計	153	85	21	7	11	6	13	7	89	59

問3：あなたの世帯の農業はどのような形態ですか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 専業農家（世帯員の中に兼業している者がいない。）
- 2 第1種兼業農家（農業所得が兼業所得よりも多い。）
- 3 第2種兼業農家（兼業所得が農業所得よりも多い。）
- 4 自給的農家（経営耕地が30a未満で、なおかつ年間の農産物の販売金額が50万円未満。）
- 5 農業経営は行っていない（農地は所有しているが、全筆貸し出ししている等、作付等は行っていない。）。

[回答] 問3 農家形態

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 専業農家	259	29.1	27.6
2 第一種兼業農家	68	7.7	5.9
3 第二種兼業農家	202	22.8	35.9
4 自給的農家	241	27.2	30.6
5 農業経営は行っていない	117	13.2	新規項目
計	887	—	—

問4：あなたの世帯の農業経営規模はどのくらいですか。下記の表内にその概数を記入してください。（農業経営面積を①に、①のうち農地の借入地がある場合は②に、畜産経営を行っている場合は畜種を③に、その頭羽数を④に記入してください。経営実態が無ければ0を記入してください。）

（参考： 1 a = 100 m² = 1 畝）

（記入例）

農地	①農業経営面積	110a	a	（アール）
	②①のうち借入地	30a	a	（アール）
畜産	③畜種	乳用牛		
	④頭羽数	50頭		

[回答] 問4 農業経営規模

農地面積(a)	回答数	割合(%)	前回(%)	うち借入	割合(%)	前回(%)
0a	37	4.5	新規項目	544	67.0	新規項目
20a 未満	128	15.5	15.5	63	7.8	3.6
20～50a	230	28.0	31.6	56	6.9	12.5
50～100a	198	24.0	27.2	32	3.9	28.6
100～300a	122	14.8	16.0	48	5.9	29.0
300～500a	38	4.6	4.2	21	2.6	10.9
500～1,000a	43	5.2	4.2	29	3.6	10.5
1,000a 以上	28	3.4	1.6	19	2.3	4.9
計	824	—	—	812	—	—

区分	飼育頭数	回答数
肉用牛	50 頭以下	4
	100 頭以下	1
	100 頭以上	1
乳用牛	50 頭以下	3
	100 頭以下	1
養鶏	1,000 羽	1
養蜂	1,000 群	1

問5：あなたの世帯の農業経営類型はどのような形態ですか。いちばん近い類型の番号を一つ選択してください。

- 1 米・麦が主体
- 2 露地野菜が主体
- 3 施設野菜が主体
- 4 花き栽培が主体
- 5 果樹栽培が主体
- 6 畜産が主体
- 7 いろいろな品目を作っていて主体となるものは特にない。
- 8 自家で消費する米や野菜を栽培している程度
- 9 生産はしていない。
- 10 その他 ()

[回答] 問5 農業経営類型

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 米・麦主体	381	42.0	47.0
2 露地野菜主体	82	9.0	7.0
3 施設野菜主体	44	4.8	4.6
4 花き主体	14	1.5	2.4
5 果樹主体	54	5.9	6.5
6 畜産主体	10	1.1	2.3
7 複合経営	26	2.9	2.4
8 自給的経営	195	21.5	26.9
9 生産はしていない	75	8.3	新規項目
10 その他	27	3.0	0.9
計	908	—	—

問6：あなたの世帯では、農産物をどのように販売されていますか。該当する番号をすべて選択してください。

- 1 農協に出荷
- 2 直接卸売市場に販売
- 3 産直で販売
- 4 スーパー等に直接販売
- 5 スーパー等に契約販売
- 6 外食産業・飲食業に直接販売
- 7 消費者に直接販売
- 8 インターネットで販売
- 9 販売していない。
- 10 その他 ()

[回答] 問6 農産物の販売方法

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 農協に出荷	474	38.6	43.8
2 直接卸売市場に販売	91	7.4	8.8
3 産直で販売	156	12.7	12.5
4 スーパー等に直接販売	20	1.6	1.1
5 スーパー等に契約販売	10	0.8	0.4
6 外食産業・飲食業に直接販売	28	2.3	2.5
7 消費者に直接販売	165	13.4	13.3
8 インターネットで販売	20	1.6	0.5
9 販売していない	237	19.3	16.7
10 その他	28	2.3	0.4
計	1,229	—	—

問7：あなたの世帯では農業後継者がいますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 すでに就農している。
- 2 5年以内に就農予定の後継者がいる。
- 3 現在、仕事をしている後継者が、仕事を退職したら就農する予定。
- 4 後継者が就農するかわからない。
- 5 いない。
- 6 その他 ()

[回答] 問7 後継者の有無

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 すでに就農している	68	7.7	7.9
2 5年以内に就農予定	13	1.5	2.2
3 退職後に就農予定	140	15.8	20.1
4 わからない	303	34.2	40.2
5 いない	353	39.7	29.0
6 その他	10	1.1	0.6
計	887	—	—

【Ⅱ あなたの地域の農地・農業の将来についての設問】

問8：国は新たな施策として、これまでの地域の農業振興計画である「人・農地プラン」から、より農地利用の姿を明確化した「目標地図」および「地域計画」を定めることとしています。今後あなたの地域の農業・農地を守るため、どのような取組が必要と思われますか。該当する番号を二つ選択してください。

- 1 後継者の確保・育成
- 2 兼業農家など多様な経営体の確保・育成
- 3 認定農業者など担い手への農地の集積・集約
- 4 農地中間管理機構の活用
- 5 農作業受託組織の確保・育成
- 6 高品質な農作物生産技術の導入
- 7 有機栽培、減農薬・減化学肥料栽培等の導入
- 8 高性能な農業機械、農業用施設の導入・設置
- 9 基盤整備事業等の取組
- 10 特になし
- 11 その他（)

[回答] 問8 地域で必要な取組

区分	回答数	割合 (%)
1 後継者の確保・育成	334	21.9
2 兼業農家など多様な経営体の確保・育成	199	13.1
3 担い手への農地の集積・集約	203	13.3
4 農地中間管理機構の活用	94	6.2
5 農作業受託組織の確保・育成	199	13.1
6 高品質な農作物生産技術の導入	62	4.1
7 有機栽培、減農薬・減化学肥料栽培等の導入	58	3.8
8 高性能な農業機械、農業用施設の導入・設置	55	3.6
9 基盤整備事業等の取組	97	6.4
10 特になし	166	10.9
11 その他	54	3.6
計	1,521	—

その他：・農地の有効活用
 ・収入面での支援、農産物の価格向上
 ・税制などでの優遇
 ・アルバイト、ボランティアの確保 等

問9：国は農地の維持・活用のために、農地の集積（担い手農業者への農地の貸借を進めること）・集約（貸借された農地を集中させ、管理しやすくすること）を進めることを検討していますが、農地の集積・集約を進めるためには、どのような取組が必要であると考えますか。該当する番号を二つ選択してください。

- 1 認定農業者など担い手との貸借、作業受委託
- 2 兼業農家など多様な経営体との貸借、作業受委託
- 3 公共の機関（（公財）香川県農地機構など）との貸借
- 4 集落営農組織の設立
- 5 小規模な農作業受託組織の設立
- 6 農地の集積・集約は必要ない。
- 7 その他（)

[回答] 問9 農地の集積・集約のための取組

区分	回答数	割合(%)
1 担い手との貸借、作業受委託	388	26.7
2 多様な経営体との貸借、作業受委託	238	16.3
3 公共の機関（(公財)香川県農地機構など）との貸借	298	20.5
4 集落営農組織の設立	139	9.5
5 小規模な農作業受託組織の設立	252	17.3
6 農地の集積・集約は必要ない。	94	6.5
7 その他	48	3.2
計	1,457	—

その他：・小規模農地の公共機関買取
 ・進入用道路等の整備
 ・基盤整備の推進 等

問10：地域の農地の維持・管理に対し、国は、半農半Xと言われる兼業農家や農外企業の農業参入、小規模農作業受託グループの結成といった、多様な農業経営体を確保・育成する方針を立てていますが、あなたの地域にはこれらに該当する経営体が存在する、もしくはこれから生まれる可能性がある、といったことはあるでしょうか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 ある。
- 2 ない。

[回答] 問10 多様な経営体の有無

区分	回答数	割合(%)
1 ある	222	25.8
2 ない	639	74.2
計	861	—

問11：農地中間管理事業についてお聞きします。農地中間管理事業とは、農地中間管理機構（香川県では（公財）香川県農地機構）が農業経営のリタイア、規模縮小などにより農地の受け手を探している農家から農地を借り受け、農業経営の効率化や規模拡大を考えている受け手（担い手農家等）に貸し付ける制度です。あなたは農地中間管理事業をご存じですか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 すでに活用している。
- 2 知っていて活用したい。
- 3 知っているが活用したくない。（問12へ進む）
- 4 知らなかったが活用したい。
- 5 知らなかったが活用したくない。（問12へ進む）
- 6 その他（ ）

[回答] 問11 農地中間管理事業の認知度

区分	回答数	割合(%)
1 すでに活用している	192	22.2
2 知っていて活用したい	160	18.5
3 知っているが活用したくない	235	27.2
4 知らなかったが活用したい	93	10.8
5 知らなかったが活用したくない	123	14.2
6 その他	61	7.1
計	864	—

その他：・知っているが借り手がいない
 ・農協や農業委員の相談で十分 等

問12：問11で「3知っているが活用したくない。」または「5知らなかったが活用したくない。」とお答えした方にお聞きします。活用したくない理由は何ですか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 農地の貸借をしたくない。
- 2 農地は知人と貸借したい。
- 3 貸借に関する条件は相互協議の上設定したい。
- 4 農地の途中解約を出し手・受け手の相互協議の上で自由に行いたい。
- 5 農地に利用制限を設けたい。(出し手)
- 6 農地は自由に使いたい。(受け手)
- 7 その他 ()

[回答] 問12 農地中間管理事業を活用したくない理由

区分	回答数	割合(%)
1 農地の貸借をしたくない	142	36.0
2 農地は知人と貸借したい	58	14.6
3 貸借に関する条件は相互協議の上設定したい	35	8.8
4 農地の途中解約を相互協議の上で自由に行いたい	42	10.6
5 農地に利用制限を設けたい(出し手)	16	4.0
6 農地は自由に使いたい(受け手)	53	13.4
7 その他	50	12.6
計	396	—

その他：・無用なトラブルの回避
 ・農薬の乱用が目立つから
 ・管理が悪いから 等

【Ⅲ あなたの世帯の農業経営の将来についての設問】

問13：あなたの世帯は、今後、農業経営をどのようにしていきたいと思っていますか。該当する番号一つ選択してください。

- 1 経営規模を拡大していきたい。(問14へ進む。)
- 2 現状を維持したい。
- 3 集落営農(集落や地域を単位とした生産過程の全部又は一部について共同で取り組む組織をいう。以下同じ。)に取り組みたい。(問15へ進む。)
- 4 経営内容を改善したい。
- 5 経営規模を縮小したい。(問16、問17へ進む。)
- 6 その他 ()

[回答] 問13 今後の経営の意向

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 経営規模拡大	54	6.3	8.2
2 現状を維持	492	57.5	59.0
3 集落営農に取り組みたい	43	5.0	4.8
4 経営内容を改善	64	7.5	5.5
5 経営規模縮小	150	17.5	20.0
6 その他	53	6.2	2.5
計	856	—	—

その他：・離農する
 ・農地を処分する 等

問14：問13で「1経営規模を拡大していきたい」とお答えした方にお聞きします。どのような方法で農業経営を拡大していこうと思っていますか。該当する番号をすべて選択してください。

- 1 農地を借りる。
- 2 農地を購入する。
- 3 作業受託(農作業の請負)をする。
- 4 農業機械のオペレーター(運転・操作の請負)を行う。
- 5 その他 ()

[回答] 問 14 経営規模拡大の方法

区分	回答数	割合 (%)	前回 (%)
1 農地を借りる	53	44.1	50.5
2 農地を購入する	15	12.5	16.5
3 作業受託をする	27	22.5	16.5
4 オペレーターを行う	14	11.7	10.1
5 その他	11	9.2	6.4
計	120	—	—

問 15：問 13で「3 集落営農に取り組みたい。」とお答えした方にお聞きします。どのような取組みをしたいと思いますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 構成員として農作業を行う。
- 2 農地を提供（貸借、農作業委託）するとともに構成員として農作業を行う。
- 3 農地を提供（貸借、農作業委託）する。
- 4 農地を提供（貸借、農作業委託）し、農作業の手伝い程度を行う。
- 5 その他（ ）

[回答] 問 15 集落営農での取組

区分	回答数	割合 (%)
1 構成員として農作業を行う	8	12.7
2 農地を提供し構成員として農作業を行う	23	36.5
3 農地を提供する	8	12.7
4 農地を提供し、農作業の手伝い程度を行う	17	27.0
5 その他	7	11.1
計	63	—

問 16：問 13で「5 経営規模を縮小したい」とお答えした方にお聞きします。どのような理由で農業経営を縮小しようと思っておりますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 高齢化のため。
- 2 世帯の労働力が不足しているため。
- 3 農業では儲からないため。
- 4 集約型の農業に切り替えるため。
- 5 その他（ ）

[回答] 問 16 経営規模縮小の理由

区分	回答数	割合 (%)	前回 (%)
1 高齢化	120	59.4	54.1
2 世帯の労働力が不足	15	7.4	14.6
3 農業では儲からない	58	28.7	27.8
4 集約型に転換	1	0.5	1.4
5 その他	8	4.0	2.1
計	144	—	—

その他：・後継者不足
・余暇を楽しみたい 等

問 17：問 13で「5 経営規模を縮小したい」とお答えした方にお聞きします。縮小されて耕作しなくなる農地については、どのようにしようと思っておりますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 不特定の個人に貸したい。
- 2 知人に貸したい。
- 3 地域の担い手に貸したい。
- 4 集落営農に貸したい。
- 5 公共の機関（(公財)香川県農地機構など）に貸したい。
- 6 農地を売りたい。
- 7 作業受託してもらいたい。
- 8 市民農園にしたい。
- 9 その他（ ）

[回答] 問 17 縮小する農地の利用

区分	回答数	割合 (%)	前回 (%)
1 不特定の個人に貸したい	3	1.5	0.7
2 知人に貸したい	13	6.5	6.9
3 地域の担い手に貸したい	34	17.0	15.3
4 集落営農に貸したい	10	5.0	4.6
5 公共の機関に貸したい	37	18.6	13.0
6 農地を売りたい	54	27.3	33.6
7 作業受託してもらいたい	12	6.0	7.6
8 市民農園にしたい	9	4.5	3.8
9 その他	27	13.6	14.5
計	199	—	—

その他：・草刈り等の管理
・借りていた農地は返す
・転用したい 等

問 18：あなたの世帯の農地に耕作放棄地（以前農地であったもので、過去1年以上作物を栽培や管理をせず、しかも、今後、数年の間に再び耕作する予定のない土地）がありますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 ある。（問 19、問 20へ進む。）
- 2 今はないが、5年以内には耕作放棄地が出てきそうだ。（問 19、問 20へ進む。）
- 3 ない。

[回答] 問 18 耕作放棄地の有無

区分	回答数	割合 (%)	前回 (%)
1 ある	223	26.3	20.8
2 今5年以内に出てきそうだ	129	15.2	11.7
3 ない	495	58.5	67.5
計	847	—	—

問 19：問 18で「1ある」または「2今はないが、5年以内には耕作放棄地が出てきそうだ。」とお答えした方にお聞きします。耕作放棄地になる理由は何ですか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 農地の条件が悪い。
- 2 高齢化のため。
- 3 世帯の労働力が不足している。（農業後継者がいない）
- 4 農機具がないから耕作できない。
- 5 相続による農地で農業をしていないから。
- 6 その他（ ）

[回答] 問 19 耕作放棄地の理由

区分	回答数	割合 (%)	前回 (%)
1 農地の条件が悪い	135	33.8	37.4
2 高齢化のため	166	41.4	38.7
3 労働力不足	55	13.8	14.8
4 農機具がないから	11	2.8	1.7
5 土地持ち非農家	17	4.2	4.8
6 その他	16	4.0	2.6
計	400	—	—

その他：・害獣被害のため
・農機具が壊れた場合、新しく購入できない
・現状山林となっている 等

問20：問18で「1ある」または「2今はないが、5年後には耕作放棄地が出てきそうだ。」とお答えした方にお聞きします。耕作放棄地をどのように解消しようと思いますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 不特定の個人に貸したい。
- 2 知人に貸したい。
- 3 地域の担い手に貸したい。
- 4 集落営農に貸したい。
- 5 公共の機関（（公財）香川県農地機構など）に貸したい。
- 6 農地を売りたい。
- 7 作業受託してもらいたい。
- 8 市民農園にしたい。
- 9 その他（)

【回答】 問20 耕作放棄地の解消方法

区分	回答数	割合 (%)	前回 (%)
1 不特定の個人に貸したい	11	3.3	4.7
2 知人に貸したい	21	6.2	11.2
3 地域の担い手に貸したい	39	11.5	15.9
4 集落営農に貸したい	16	4.7	11.2
5 公共の機関に貸したい	50	14.8	16.5
6 農地を売りたい	103	30.5	28.8
7 作業受託してもらいたい	15	4.4	4.7
8 市民農園にしたい	11	3.3	2.9
9 その他	72	21.3	4.1
計	338	—	—

その他：・耕作して改善していきたい

- ・草刈りのみは行う
- ・基盤整備を行う
- ・転用する
- ・非農地にする 等

【IV 農業振興等に関する設問】

問21：高松市で特産品を作るにはどんな品目が良いと思いますか。該当する農作物を三つまで選択してください。

- | | | | | |
|-------------|-----------|------------|------------|---------|
| 1 米 | 9 キュウリ | 17 ミトウガン | 25 びわ | 33 そば |
| 2 小麦 | 10 ふき | 18 スイートコーン | 26 キウフルーツ | 34 たばこ |
| 3 白大豆 | 11 アスパラガス | 19 まんば | 27 イチジク | 35 しいたけ |
| 4 黒大豆 | 12 オクラ | 20 イチゴ | 28 カーネーション | 36 盆栽 |
| 5 ナス | 13 そらまめ | 21 みかん | 29 菊 | 37 肉用牛 |
| 6 ブロッコリー | 14 ねぎ | 22 柿 | 30 葉ぼたん | 38 その他 |
| 7 ナバナ | 15 エンサイ | 23 ブドウ | 31 ひまわり | () |
| 8 トマト・ミニトマト | 16 ごぼう | 24 もも | 32 お茶 | |

[回答] 問21 特産品の意識

区分	回答数	割合(%)
1 米	326	15.0
2 小麦	238	10.9
3 白大豆	34	1.6
4 黒大豆	72	3.3
5 ナス	39	1.8
6 ブロッコリー	222	10.2
7 ナバナ	80	3.7
8 トマト・ミニトマト	60	2.8
9 キュウリ	54	2.5
10 ふき	9	0.4
11 アスパラガス	123	5.7
12 オクラ	41	1.9
13 そらまめ	68	3.1
14 ねぎ	62	2.8
15 エンサイ	8	0.4
16 ごぼう	6	0.3
17 ミトカゴン	1	0.0
18 スイートコーン	31	1.4
19 まんば	59	2.7
20 イチゴ	93	4.3

区分	回答数	割合(%)
21 みかん	63	2.9
22 柿	23	1.1
23 ブドウ	53	2.4
24 もも	17	0.8
25 びわ	32	1.5
26 キウフルーツ	63	2.9
27 イチジク	48	2.2
28 カーネーション	10	0.5
29 菊	14	0.6
30 葉ぼたん	9	0.4
31 ひまわり	25	1.1
32 お茶	6	0.3
33 そば	33	1.5
34 たばこ	1	0.0
35 しいたけ	18	0.8
36 盆栽	78	3.6
37 肉用牛	19	0.9
38 その他	38	1.7
計	2,176	—

その他：・オリーブ 3 ・ニンニク 3 ・アボカド 3 ・大根 ・薬草 ・みょうが ・山椒
 ・クレソン ・セロリ ・ロメインレタス ・ビーツ ・中晩柑 ・パパイヤ ・ポポー
 ・キャベツ ・レモン ・人参 等

問22：あなたの世帯は、地産地消を促進するためには、どのような取組みが必要だと思いますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 地産地消の意義や効果に関する情報発信
- 2 地元の農産物が購入できる場所に関する情報発信
- 3 農産物の栽培に関する情報発信
- 4 調理方法・食べ方に関する情報発信
- 5 流通体制の整備
- 6 生産者と消費者の交流会等の開催
- 7 PRイベントの開催
- 8 その他 ()

[回答] 問22 地産地消の促進に必要な取組み

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 意義や効果の情報発信	161	19.4	17.1
2 購入できる場所の情報発信	177	21.3	25.2
3 栽培に関する情報発信	105	12.6	16.6
4 調理方法・食べ方の情報発信	83	10.0	8.0
5 流通体制の整備	131	15.8	12.9
6 交流会等の開催	69	8.3	11.2
7 PRイベントの開催	70	8.4	7.0
8 その他	35	4.2	2.0
計	831		—

その他：・学校給食での利用
・地元飲食店で積極的に使ってもらう 等

問23：あなたの世帯は、生産者と消費者の交流促進や農業体験活動について、どのように考えていますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 生産者と消費者の相互理解が深まる。
- 2 食育(生きる上での基本であって、知育、徳育および体育の基礎となるべきもので、様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。)に役立つ。
- 3 地産地消につながる。
- 4 関心がない。
- 5 その他 ()

[回答] 問23 生産者と消費者の交流促進や農業体験活動の考え方

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 相互理解が深まる	189	23.0	27.9
2 食育に役立つ	219	26.7	25.9
3 地産地消につながる	257	31.3	29.1
4 関心がない	140	17.1	16.6
5 その他	16	1.9	0.5
計	821		—

その他：・価格が安定しない限り意味がない
・田植えや稲刈りのイベントだけではあまり意味がない 等

問24：あなたの世帯は、生産者と消費者の交流促進や農業体験活動について、どのような取組みが必要だと思いますか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 生産者と消費者の交流会等の開催
- 2 農業体験活動の実施
- 3 学校(小学校・中学校等)での農業体験活動の実施
- 4 市民農園の整備
- 5 PRイベントの開催
- 6 観光農園の整備
- 7 その他 ()

[回答] 問24 生産者と消費者の交流促進や農業体験活動の必要な取組み

区分	回答数	割合(%)	前回(%)
1 交流会等の開催	171	21.4	29.4
2 農業体験活動の実施	148	18.5	22.1
3 学校での農業体験活動の実施	207	25.9	25.5
4 市民農園の整備	85	10.6	6.6
5 PRイベントの開催	108	13.5	13.8
6 観光農園の整備	33	4.1	1.8
7 その他	48	6.0	0.8
計	800	—	—

その他：・農業について住民の理解を深める ・必要ない 等

〔V 有害鳥獣に関する設問〕

問 25：有害鳥獣被害防止対策についてお聞きします。令和 4 年 4 月 1 日から 10 月 31 日までの間で、イノシシによる農作物への被害はありましたか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 深刻な被害があり、出荷ができず収入に大きな影響があった。(問 26 へ進む。)
- 2 被害はあったが、出荷にほとんど影響はなかった。(問 26 へ進む。)
- 3 今のところ被害はないが、近くでイノシシが出没していて、今後、被害の心配がある。
- 4 被害はなかった。

〔回答〕 問 25 イノシシによる被害

区分	回答数	割合 (%)
1 深刻な被害があった	44	5.4
2 被害はあったが、出荷にほとんど影響はなかった	120	14.7
3 被害はないが今後、被害の心配がある	170	20.9
4 被害はなかった	481	59.0
計	815	—

問 26：問 25 で「1 深刻な被害があり、出荷ができず収入に大きな影響があった。」又は「2 被害はあったが、出荷にほとんど影響はなかった。」とお答えした方にお聞きします。被害を受けた後、どのように対処しましたか。該当する番号を一つ選択してください。

- 1 防護柵を設置して、被害を減らす対策をした。
- 2 防護柵は設置していないが、猟友会等にイノシシの捕獲依頼をして、改善した。
- 3 防護柵は設置せず、イノシシの捕獲依頼はしたが、被害は続き、改善しなかった。
- 4 自らイノシシを捕獲するため、狩猟免許を取得した。
- 5 どのように被害を防げばいいかわからず、そのままにしている。
- 6 被害を受けた農地で耕作をする意欲がなくなり、耕作するのをやめた。

〔回答〕 問 26 イノシシによる被害の対処

区分	回答数	割合 (%)
1 防護柵を設置	89	50.6
2 猟友会等にイノシシの捕獲依頼改善した	14	8.0
3 イノシシの捕獲依頼はしたが改善しなかった	18	10.2
4 イノシシを捕獲するため、狩猟免許を取得した	9	5.1
5 対処方法が分からずそのままにしている	28	15.9
6 被害を受けた農地で耕作するのをやめた	18	10.2
計	176	—

問 27：鳥獣による農作物への被害に遭われた方にお聞きします。どのような鳥獣の被害がありましたか。該当するすべての番号を選択してください。

- 1 イノシシ
- 2 サル
- 3 シカ
- 4 アライグマ
- 5 ハクビシン
- 6 タヌキ
- 7 アナグマ
- 8 カラス
- 9 ヒヨドリ
- 10 ムクドリ
- 11 スズメ
- 12 その他 ()

[回答] 問 28 農業振興に必要な対策

区分	回答数	割合 (%)	前回 (%)
1 生産技術や情報などの提供	139	6.2	7.8
2 農作業の作業支援の対策	184	8.2	7.3
3 農地のあっせん体制の整備	186	8.2	8.7
4 補助事業や融資に対する支援	203	9.1	6.4
5 集落営農の推進	72	3.2	5.0
6 特産品の育成・振興	61	2.7	5.2
7 担い手の育成	143	6.4	5.5
8 担い手への農地の集積・集約	91	4.1	新規項目
9 後継者の育成	159	7.1	8.9
10 農作業ボランティアの育成	49	2.2	新規項目
11 スマート農業の推進	51	2.3	新規項目
12 市場流通の強化	55	2.5	2.5
13 荒廃農地の解消対策	180	8.0	9.3
14 有害鳥獣の被害防止対策	121	5.4	6.6
15 市民農園や農業体験施設の整備	36	1.6	1.4
16 地産地消の推進	99	4.4	7.0
17 環境保全型農業の推進	34	1.5	2.2
18 国の施策への取組みの推進	92	4.1	7.2
19 農業生産基盤の整備促進	201	9.0	8.6
20 地元の農産物を活用した商品の開発	43	1.9	新規項目
21 その他	42	1.9	0.4
計	2,241	—	—

その他：・兼業農家、小規模農家への支援
 ・欧米のような補助金
 ・農作物の盗難を防ぐ
 ・市場での評価が高い育種、品種改良 等

問 29：どのようなことでもかまいませんので、高松市の農業振興に関する御意見を御記入ください。

(例：本市農業の振興方法。農業振興のためにすべきこと。食育、農産物のブランド化の推進についてなど)